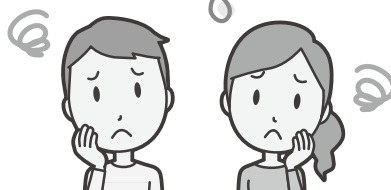


公民館報は隔月発行なので、タイムリーな話題には遅れがち。前号では市長選の争点ともなった松本パルコの後に触れた話題があったものの、その後白紙化となるや、この間とうとう井上本店の閉店まで発表された。

第一地区は商都松本のシンボリックなエリアであったが、第三地区にイオンモール松本が開店した平成29年以降、アリオ・パルコ・井上と閉店ドミノが止まらない。来年1月にはイトーヨーカドー南松本店も閉店するので、もはや「商都」を名乗るのもおこがましい状況だ。

どうする 松本2 “商都ショート物語”



令和6年7月1日現在

世帯数 : 869世帯

人口 : 1507人

男 : 707人

女 : 800人

昭和53年のやまびこ国体に向けて、松本駅周辺地区の区画整理が行われ、同年4月イトーヨーカドー松本店の開店、7月松本駅舎の商業ビル化（セルヴァン松本 現ミドリ）、翌54年4月井上が六九商店街より移転開業、同年隣接する野口ビルの上層階は井上新館として、下層階は専門店街ベルモール25として開業すると駅前が商都の中心となった。

それまでの商業の中心エリアは伊勢町・本町・六九であったが、昭和49年に信州ジャスコに買収されたはやしや百貨店はジャスコとして営業したものの、56年に新規開業したカタクラモールに移転。車社会の到来で、井上とはやしやを失った中心商店街からは客足が遠のく結果となった。

多くの犠牲者を出した53年の火災をきっかけに、本町のアーケードは防災機能を備えた最新のタイプに進化した。最新タイプの視察は相次いでも、買い物客にメリットが

あるわけでもなく、そんな中でしばらく空き店舗となっていた旧はやしやのビルを改装してオープンしたのがパルコであった。59年8月のことである。翌60年から平成14年にかけて行われた中央西地区土地区画整理では、土地の形を整え、一方通行を解消して歩行者空間を広げ、市営駐車場を新設、Mウイングや時計博物館、花時計公園などの公共施設の整備を続け、衰退する全国の地方都市の中では数少ない成功例とされてきた。

しかし平成に入ると、5年

にはジャスコ南松本店、6年にはダイエー松本店、10年にイトーヨーカドー南松本店、12年にアイシテイ21が続々とオープン。郊外型のショッピングセンター全盛の時代である。加えて工場の跡地や後継者のいない農地の転用などで土地の供給には困らないので、渚ライフサイトやコモ庄内のようなスーパーマーケットやホームセンター中心の商業施設まで増加する一方であった。この間大して人口も増えない中で商業施設の面積だけは3倍以上に増加するも

のだから、勝者なき消耗戦である。

松本駅周辺の整備が始まったのが昭和42年。間もなく還暦である。当時建設された施設の更新がすでに始まっている。木造の古民家であれば味わい深く付加価値を上げる再利用もできようが、老朽化した鉄筋や鉄骨造では耐震性の面からも難しい。人口減少局面で描く将来プランは難しそうだが、これも松本ならではの贅沢な悩みなのかもしれない。



本町通りの街並み（昭和41年）



セルヴァン松本（現ミドリ）屋上から眺めた景色（昭和54年）

第一地区の

老舗をたのむ

第五十回:

信光石油株式会社

(本町4丁目)

当店は昭和30年に、出光興産松本出張所として、現在の本町三丁目にて設立し、主に揮発油・軽油・灯油を販売し始めました。

その後、昭和33年から昭和39年の間に、大町市、塩尻市、白馬村へと店舗を拡大して、中信地区から大北地区へと

◀昭和30年代 本町三丁目
店舗前で記念撮影



◀昭和40年代 本町五丁目の店舗



◀現在の店舗 (本町四丁目)



燃料供給業者として、消費者様へ安定供給を信念として、展開させていただいております。

その後、昭和40年頃、現在の本町五丁目に店舗を移し、ガソリンスタンドとして、本格的に稼働し始めました。

当時は個人としての車の所有は少なく、主なお客様はタクシーであったと聞いており

ます。

昭和50年代に入り、現在の本町四丁目に移転し、店舗の増設や、消費者のニーズに

えられるように、自動車関連用品の販売・車検・軽整備・LPガス・給湯器やシステムキッチン・冷暖房システム・保険商品・家庭用電化製品の販売等にも取り組み、地域の皆様の生活に便利な存在であ

るべく日々精進しております。

最近、世界的にもエネルギーの存在意義について問われる中、人類において、必要不可欠なものであると認識するとともに、時代に合わせ変遷していくるように、努力してまいりますので、ぜひ一度、お立ち寄りいただけますと幸いです。

電車通り

最近、集会といっても、顔をれを見ると、なかなか新顔の参加はありません。今参加の人々が、元気で長生きできると良いなあと思うこの頃です。人間は高齢になると、異常の有った時、救急処置を必要とする事が多くなります。

4月の「もしもの時のお役立ち講座」で救命の話がありました。その時救急車を要請するポイントとして、判断が難しい、かかりつけ医の休診等で打開策の見出せない時に、相談を受けてもらえるところが有ると聞きました。また思ったほど皆様知られていないという話もあり、ぜひ活用していただきたいと思います。

看護師等の相談員に電話でアドバイスをもらえます。

『長野県救急安心センター』

電話# 7119

相談時間は

平日 19時から翌8時迄
土日・祝日 24時間対応

これは小生が前述の事態に遭遇した時、様子を見てしまい、状態を悪化させた可能性がある、との反省から、皆様に広く活用いただければ良いな、と思う次第です。